

オープンソースソフトウェアを通じてビジネスに加速を

業界に通じるコア・メンバーを中心に、成果物を生み出す団体として進化し続けています。数年前にOSSを利用する人は一部しかいませんでしたが、現在では当たり前のように利用されるソフトウェアになりました。OSに始まりミドルウェア、データベース、更にはアプリケーションレイヤーまでもがOSSとなりつつある今、OSSコンソーシアムは、OSSビジネスで使いこなすためのノウハウを切磋琢磨する場を提供し続けたいと考えています。既にお持ちのノウハウをブラッシュアップしたい方、切磋琢磨されたノウハウをいち早く見極めたい方は、この機会に是非ご参加ください。OSSコンソーシアムは下記の秀逸な部会リーダー陣を中心に皆様のご要望に応えたいと考えています。

AI IoT Robotics Automotive部会

(株)アックス 代表取締役 会長 竹岡 尚三



ユニテックシステム(株)
法務部 部長 宇田川 勝一



～IoT/組込み/人工知能分野におけるOSSの普及・利用の促進を行う～
IoT/組込み分野、ロボット/自動運転とその他の人工知能(AI)分野などで使用されるOSSの情報収集、議論、情報共有を行います。また、当該分野におけるOSSの普及・利用の促進に向けた活動を行います。

Open EDA部会

株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー
滝澤 正大



～LSI開発者の裾野を広げる～

オープンソースEDAによるLSI開発手法や、オープンスタンダードなISAであるRISC-Vや低消費電力デバイス技術などの周辺技術を調査して、活用方法の模索と情報共有を行います。すでに当該技術に興味を持っているひとだけではなく、若者にも興味を持ってもらうために初心者向けの情報発信の実施やセミナー等を開催します。

オープンCOBOLソリューション部会

(有)ランカードコム 取締役 峰松 浩樹



東京システムハウス(株) 比毛 寛之



～基幹システムへのopensource COBOLの普及促進を図る～
プロプライエタリな環境が一般的なCOBOLの開発においてもオープンソースのメリットを活かすため、OSS COBOLを技術・ビジネスの両面からサポートできるように整備していき、基幹システムにおけるOSSの普及・促進を図ります。

開発基盤部会

西野大介



～企業のITインフラのポートフォリオの拡充～

issueを解決するために使用する各種オープンな要素技術やプラットフォームを、幅広い開発技術を用いてパッケージ(統合)する。また、その際の効率向上も行う。そして、これら技術的アウトプットを継続的に公開する。

データベース部会

TIS株式会社 IT基盤技術推進部 主査
溝口 則行



株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー
代表取締役 鶴川 徹



～データベース領域でのオープンソースの更なる発展促進を図る～
特定のプロダクトにとらわれず、第三者的な立場で様々なデータベースの情報を収集し、それらをユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供します。また、データベースの垣根を越えたイベントなどを開催します。

東海支部

(株)パドック 代表取締役 杉本 等



～東海地方のOSSのビジネス利用促進を図る～

東海地方において、OSSの利用促進とともに、ビジネス拡大を図ります。調査、勉強会およびセミナーを通じ、OSSを広く知ってもらい、導入利用のサポートおよび開発など、この地域のOSSビジネスの受け皿となるように活動していきます。

ビジネスアプリケーション部会

株式会社ウェブチップス
代表取締役 野原 直一



～オープンソースビジネスアプリケーションの普及促進を行う～
ビジネスアプリケーションレイヤーにまで浸透してきているOSSですがユーザーに対するメリットの説明不足や、信頼性に関する誤解が多々見受けられます。それらの誤解を払拭すべく、積極的に啓蒙活動を行います。

分散コンピューティング部会

(株)日立ソリューションズ 技術革新本部
生産技術部 AI Center of Excellence
主任技師 才所 秀明



(株)ノーチラス・テクノロジーズ
代表取締役社長 日黒 雄一



～オープンソースの分散コンピューティング技術の普及促進～
オープンソースの分散コンピューティング技術は、ニアリアルタイムのストリーム処理も可能な技術に発展し、IoTやAIなどの基盤技術となっています。本部会では、分散コンピューティングの分散処理技術に焦点をあて、情報収集・情報交換及び公開を行い、導入活用に向けた普及促進を行います。

会長挨拶



OSSTech(株) 代表取締役 小田切 耕司

私たちOSSコンソーシアムは、社会貢献活動からビジネス創造までを活動の軸にしている組織です。昨今IoTやAI、自動運転などのテクノロジーにはOSSが当たり前のように使われています。そのような時代の中で多種多様な部会活動を通して、具体的に成果を残し発信することでOSSの発展を支援しています。OSSには変化の激しい時代を生き抜く力があると信じています。エンドユーザー、公共機関、学生、ソフトウェアベンダの力を合わせることで、更なるOSSの発展に尽力していく所存です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

メリット

- 1 各部会で展開される先進的且つ実践的なノウハウを吸収できます。
- 2 各部会の成果物の作成に参加することにより、自身のノウハウをブラッシュアップできます。
- 3 会員向けの教育優遇措置など、会員向けの特典を享受できます。

基本ポリシー

- 1 ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする
2. 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける
3. ユーザーが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す

会員構成と会費

■ビジネス会員

・理事会員
対象：OSSコンソーシアム理事企業
年会費9万6千円

・一般会員

対象：OSS関連のテクノロジーそのものでビジネスを実施もしくは計画されている企業、団体・個人
年会費：6万円

・準会員

対象：一般会員の期限付き試用会員
期限：半年間を期限にて参加可能
年会費：無料

■賛助会員

対象：OSS関連のテクノロジーを利用している個人
年会費：1口6千円 * 1口以上

目的

1. 会員企業(ユーザー)のOSS採用促進
2. 会員企業(ベンダー)のOSSビジネスの促進
3. OSS市場の活性化貢献

会員企業一覧

* 順不同

OSSTech株式会社
株式会社アックス
株式会社ビイガコーポレーション
株式会社パドラック
株式会社デジタル・ヒュージ・テクノロジー
株式会社ゼンク
株式会社日立ソリューションズ
TIS株式会社
東京システムハウス株式会社
株式会社ノーチラス・テクノロジーズ
有限会社ランカードコム
特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
株式会社CIJ
OVOL ICTソリューションズ株式会社
東芝デジタルソリューションズ株式会社
サン情報サービス株式会社
ベニックソリューション株式会社
ユニテックシステム株式会社
株式会社日立ソリューションズ西日本
法律事務所LAB-01(ラボワン)
株式会社ウェブチップス
株式会社ソフトテックス
エンタープライズDB株式会社
株式会社SIT11

